

8月の天候

2018年（平成30年）8月の特徴：

東・西日本は、気温がかなり高かった。

東・西日本は、上・下旬を中心に晴れて気温が顕著に上昇した日が多かったため、月平均気温がかなり高かった。

西日本日本海側は、降水量がかなり少なく日照時間がかなり多かった。

西日本は日本海側を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、西日本日本海側では月降水量がかなり少なく、月間日照時間がかなり多かった。

北・東日本日本海側と沖縄・奄美は、降水量がかなり多かった。

北・東日本日本海側は活動が活発になった秋雨前線の影響で、沖縄・奄美は台風の影響でそれぞれ数回大雨になったことなどにより、月降水量がかなり多かった。

1 概況

東・西日本は、上・下旬を中心に晴れて気温が顕著に上昇した日が多かったため、月平均気温がかなり高かった。特に西日本では日本海側を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多く、湿った気流の影響を受けにくかったため、西日本日本海側では月降水量がかなり少なく、月間日照時間がかなり多かった。一方、東日本日本海側は月の後半に秋雨前線の活発な活動で数回大雨になったため、月降水量がかなり多くなり、31日は記録的な大雨になった所があった。

月の前半は東海地方で日最高気温が40℃を上回る地点もあり、美濃（岐阜県）では40℃以上の日が3日間に及んだほか、前月28日から11日まで15日間連続で猛暑日を記録した。月の後半は、南からの湿った気流により大気の状態が非常に不安定になって局地的な大雨の発生する日があった。また、23日は、台風第20号が縦断した西日本を中心に大雨や暴風に見舞われた所があったほか、日本海側ではフェーン現象により気温が顕著に上昇して中条（新潟県）で日最高気温が40.8℃に達するなど、北陸地方で統計史上初めて40℃以上を記録した。

北日本は、秋雨前線の活発な活動で数回大雨になったことなどにより、日本海側では月降水量がかなり多くなり、太平洋側でも多かった。5日と31日は東北地方で、15～16日は北日本の広い範囲で、それぞれ記録的な大雨になった所があった。また、上旬後半はオホーツク海高気圧からの冷たく湿った気流の影響で、中旬後半は深い気圧の谷の通過後に大陸から東進した冷涼な高気圧に覆われた影響で、ともに顕著な低温になった。

沖縄・奄美は、台風の影響で大雨となった日の中・下旬に数日あったことなどにより、月降水量がかなり多かった。

なお、台風が9個発生してひと月の発生数としては1994年8月以来24年ぶりの多さとなり、特に12～16日は1951年の統計開始以来初めて5日間連続で台風が発生した。

2 気温、降水量、日照時間の気候統計値

(1) 平均気温

東・西日本でかなり高かった。佐賀（佐賀県） 熊本（熊本県）など、6地点で8月の月平均気温高い方から1位の値を更新し、洲本（兵庫県）など6地点で1位タイの値を記録した。北日本と沖縄・奄美では平年並だった。

(2) 降水量

東・北日本日本海側と沖縄・奄美でかなり多く、北日本太平洋側で多かった。新庄、酒田（以上、山形県）の2地点で8月の月降水量多い方から1位の値を更新した。一方、西日本西日本海側ではかなり少なかった。萩、山口（以上、山口県）の2地点で8月の月降水量少ない方から1位の値を更新した。東・西日本太平洋側では平年並だった。

(3) 日照時間

西日本でかなり多く、東日本太平洋側で多かった。日田（大分県）で8月の月間日照時間多い方から1位の値を更新した。一方、北日本日本海側では少なかった。北日本太平洋側と東日本日本海側および沖縄・奄美では平年並だった。

地域平均平年差（比）と階級（2018年8月）

	気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)
北日本	-0.5 (○)	156 (+)* 日 171 (+)* 太 142 (+)	89 (-) 日 86 (-) 太 91 (○)	北海道	-0.9 (○)	147 (+)* 日 158 (+)* 才 147 (+) 太 134 (+)	83 (-) 日 80 (-) 才 91 (○) 太 83 (-)
				東北	0.1 (○)	187 (+)* 日 196 (+)* 太 147 (+)	96 (○) 日 91 (-) 太 99 (○)
東日本	1.3 (+)*	94 (○) 日 175 (+)* 太 73 (○)	116 (+) 日 100 (○) 太 120 (+)	関東甲信	1.3 (+)	71 (○)	120 (+)
				北陸	0.8 (+)	175 (+)*	100 (○)
				東海	1.5 (+)*	76 (○)	120 (+)*
西日本	1.3 (+)*	83 (-) 日 43 (-)* 太 79 (○)	120 (+) 日 127 (+)* 太 115 (+)*	近畿	1.1 (+)	97 (○) 日 86 (○) 太 101 (○)	117 (+) 日 114 (+) 太 119 (+)
				中国	1.5 (+)*	83 (-) 陰 59 (-) 陽 87 (○)	123 (+) 陰 121 (+) 陽 126 (+)
				四国	1.0 (+)	85 (○)	114 (+)
				九州北部	1.8 (+)*	30 (-)*	132 (+)*
				九州南部 ・奄美	0.6 (+) 本 0.7 (+) 奄 -0.1 (○)	77 (-) 本 80 (-) 奄 152 (+)	105 (+) 本 108 (+) 奄 100 (○)
沖縄・奄美	-0.1 (○)	181 (+)*	94 (○)	沖縄	-0.1 (○)	164 (+)	92 (-)

階級表示 ー:低い(少ない) ○:平年並 +:高い(多い)
*はかなり低い(少ない)、かなり高い(多い)を表す

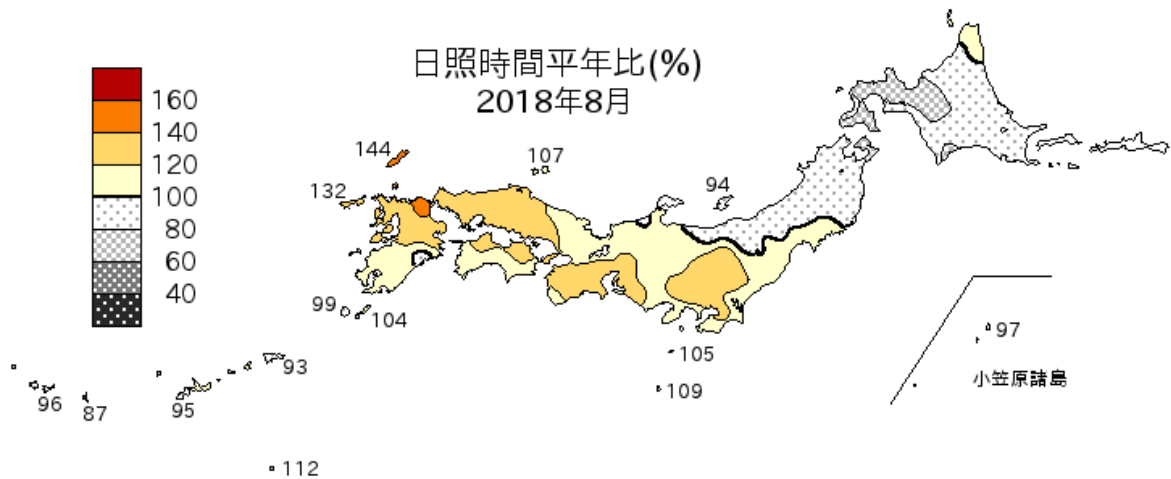
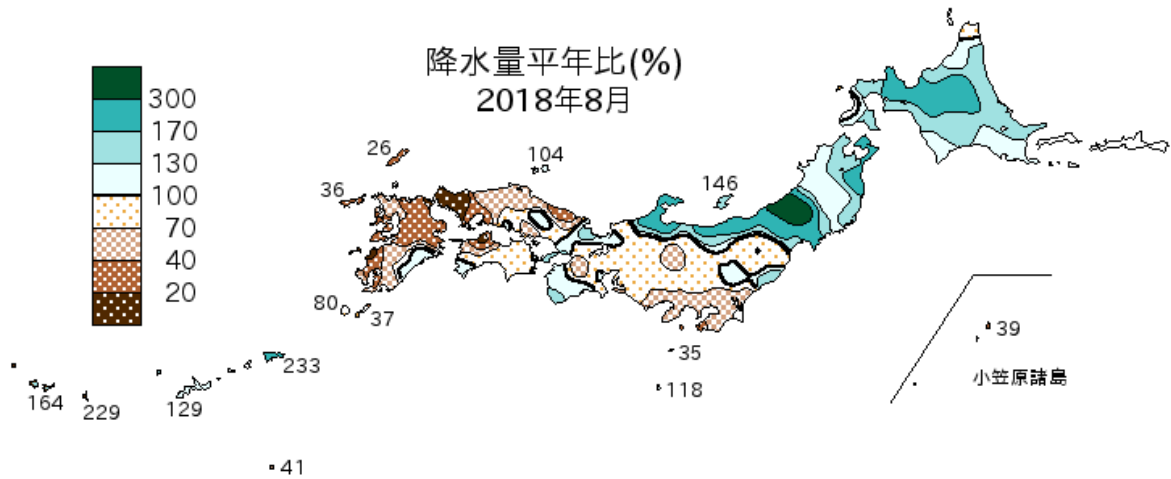
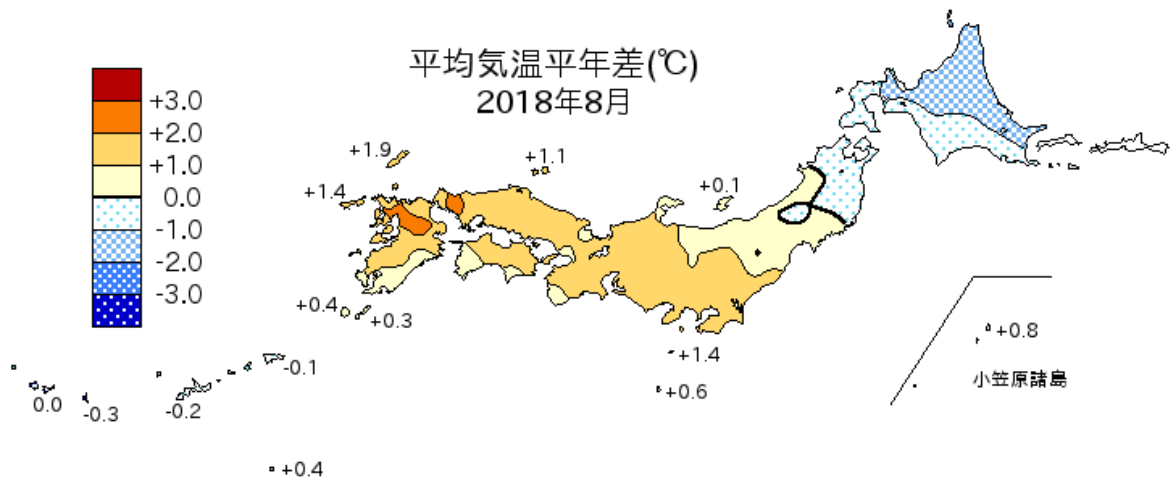
地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土(九州南部)
才:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美
太:太平洋側

(注)・基礎となるデータは全国の気象台等での観測値で、観測所数は153地点である。

・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1981~2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1981~2010年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

・本文中の北・東・西日本の降水量・日照時間の特徴は、日本海側・太平洋側の階級に基づいて記述している。

平年差（比）図（2018年8月）



3 旬別の天候経過

上 旬：北日本は広く晴れた日は少なかったが、北海道地方では旬の中頃にかけて晴天の続いた所があった。東北地方では、秋雨前線や台風第 13 号の影響で曇りや雨が多くなった所もあった。5 日は東北地方に秋雨前線が停滞し、金山（山形県）で日降水量が 302.5mm と 1976 年の統計開始以来通年での最多を記録するなど、記録的な大雨になった所があった。旬の中頃以降は、寒気が流れ込んで気温の低い日も多かった。7 日は厚床（北海道）で日最低気温が 3.6 まで下がり、8 月としては 1978 年の統計開始以降で最も低くなった。東・西日本は晴れて気温が顕著に上昇した日が多く、東海地方では日最高気温が 40 を上回る地点もあり、美濃（岐阜県）では 40 以上の日が 3 日間に及ぶなど、10 日間すべて猛暑日になった。8～9 日は、台風第 13 号が暴風域を伴ったまま関東地方の太平洋側に接近して東北地方の太平洋沿岸を北へ進んだ影響で大雨となった所があった。沖縄・奄美は、旬のはじめは台風第 12 号の通過により曇りや雨で、その後は高気圧に覆われて広く晴れた。

旬平均気温は、東・西日本ではかなり高く、沖縄・奄美は高かった。北日本は平年並だった。旬降水量は、西日本日本海側ではかなり少なく、西日本太平洋側は少なかった。一方、北日本は多く、東日本日本海側・太平洋側と沖縄・奄美は平年並だった。

旬間日照時間は、西日本日本海側ではかなり多く、北日本日本海側と東・西日本太平洋側は多かった。北日本太平洋側と東日本日本海側および沖縄・奄美は平年並だった。

中 旬：北日本は、秋雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。旬の中頃は深い気圧の谷の通過に伴って秋雨前線の活動が活発になり、記録的な大雨の所があった。東・西日本は日本海側を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、旬の中頃は南からの湿った気流により大気の状態が不安定になって局地的な大雨の所があった。12～16 日は 1951 年の統計開始以来初めて 5 日間連続で台風が発生し、沖縄・奄美はそれらの影響を一部受けたこともあって曇りや雨の日が多くなり、12 日は台風第 14 号の影響で、15～16 日は台風第 18 号の影響で、それぞれ大雨になった所があった。旬前半は西・東日本では引き続き気温が顕著に高く、13 日には日田（大分県）で日最高気温が 1942 年の統計開始以来最高の 39.9 となり九州の歴代 1 位を更新した。深い気圧の谷が通過した後の旬後半は、大陸から東進した冷涼な高気圧に覆われて全国的に気温が平年を下回る日が多かった。18 日は、糠内（北海道）で日最低気温が 4.2 まで下がって、8 月としては 1979 年の統計開始以降で最も低くなった。

旬平均気温は、北・東日本と沖縄・奄美では低く、西日本は平年並だった。

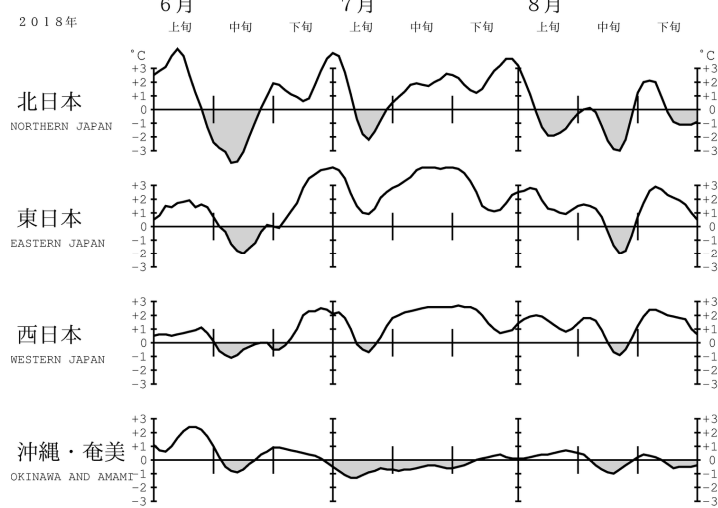
旬降水量は、北日本と沖縄・奄美ではかなり多く、東日本日本海側は多かった。一方、西日本日本海側は少なく、東・西日本太平洋側は平年並だった。

旬間日照時間は、東・西日本日本海側では多かった。一方、北日本日本海側と沖縄・奄美は少なかった。北・東・西日本太平洋側は平年並だった。

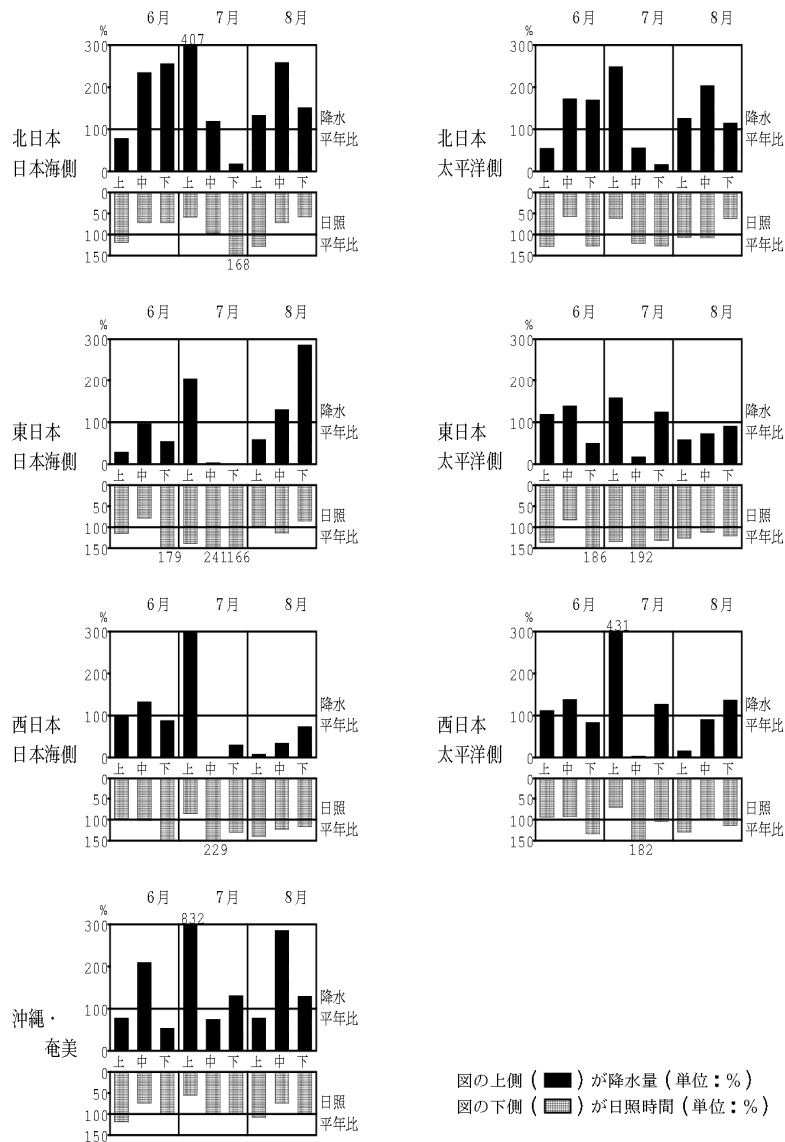
下 旬：北日本は秋雨前線や低気圧の影響を受けやすく、日本海側を中心に曇りや雨の日が多かった。東・西日本は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、台風第 19・20 号や秋雨前線の影響で曇りや雨の日もあった。23～24 日には台風第 20 号が徳島県に上陸して西日本を縦断し、23 日は上北山（奈良県）で日降水量 449.0mm、友ヶ島（和歌山県）で最大瞬間風速 52.3m/s を記録するなど大雨や暴風に見舞われた所があったほか、日本海側ではフェーン現象により気温が顕著に上昇して中条（新潟県）で日最高気温が 40.8 に達するなど北陸地方で統計史上初めて 40 以上を記録した。このほか、東・西日本は気温が顕著に上昇した日が多かった。30

～31日は秋雨前線の活動が活発になって北・東日本日本海側は大雨に見舞われ、31日は志賀(石川県)で日降水量が161.5mmと1976年の統計開始以来通年での最多を記録した。沖縄・奄美は、台風第19号や熱帯低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、特に21～22日は非常に強い勢力を保ったまま奄美地方を北上した台風第19号により、奄美地方は大雨や暴風に見舞われた。旬平均気温は、東・西日本ではかなり高かった一方、北日本と沖縄・奄美は平年並だった。旬降水量は、東日本日本海側ではかなり多く、北日本日本海側と西日本太平洋側では多かった。北・東日本太平洋側と西日本日本海側および沖縄・奄美は平年並だった。旬間日照時間は、北日本日本海側ではかなり少なく、北日本太平洋側は少なかった。一方、東日本太平洋側と西日本は多く、東日本日本海側と沖縄・奄美は平年並だった。

地域平均気温平年差の経過（5日移動平均）

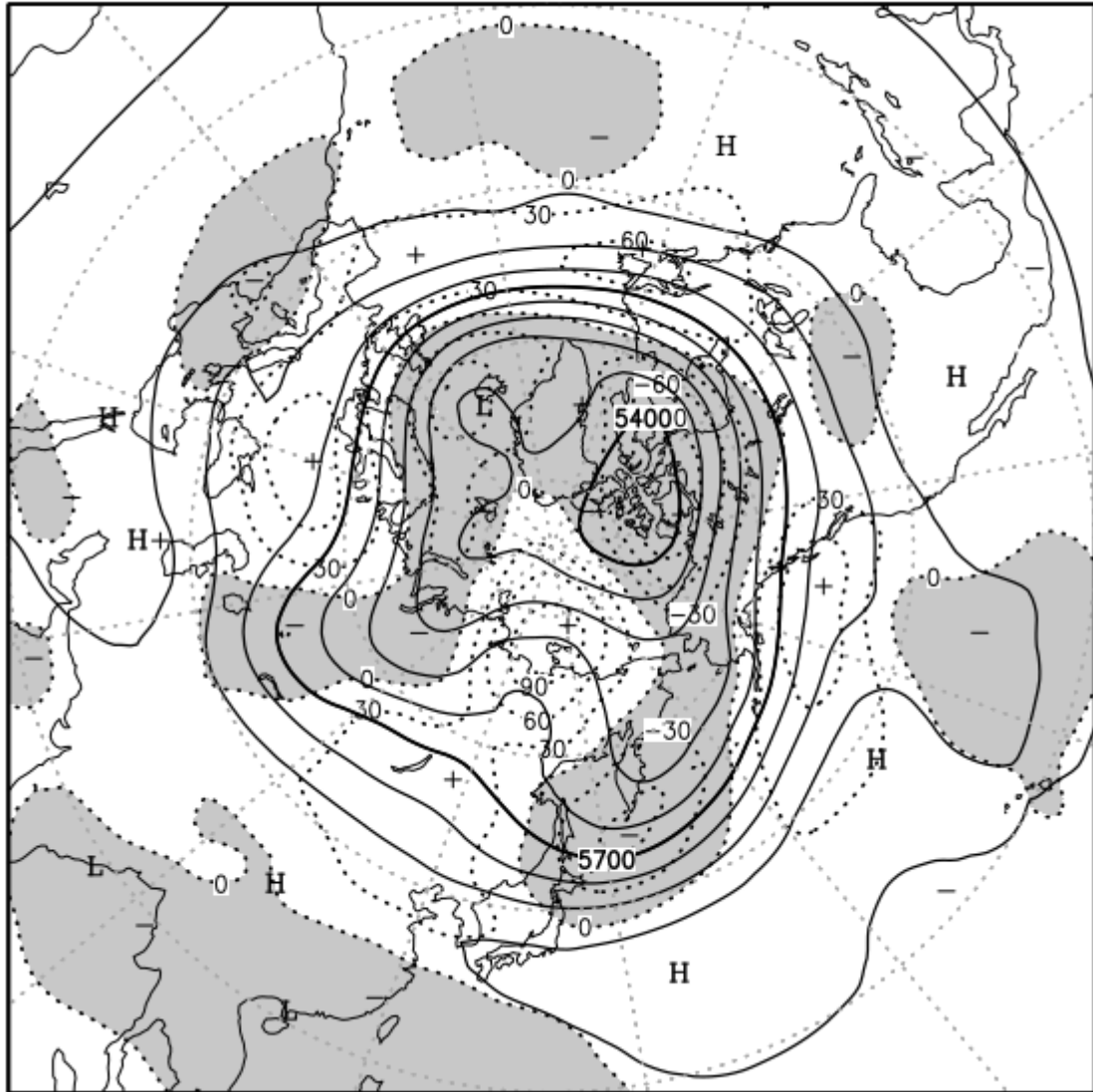


旬降水量および旬間日照時間の地域平均平年比の時系列



4 大気の流れの特徴

500hPa 天気図：シベリアの北極海沿岸が明瞭な正偏差の一方、北極付近を取り囲む高緯度帯では明瞭な負偏差が卓越した。さらにその南の中緯度帯には広く正偏差域が広がり、モンゴル～中国東北区～西・東日本も高気圧の勢力が強く正偏差だった。一方、深い気圧の谷が数回通過した千島近海～北日本北部は明瞭な負偏差となった。また、沖縄・奄美～日本の南は、中心気圧の低い台風を含む熱帯擾乱が頻繁に通過したことなどを反映して負偏差となった。



2018年8月の500hPa高度・偏差（等値線間隔 実況（実線）60m、偏差（破線）30m）
陰影域は負偏差

5 全国気候表 2018年8月

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比)階級		降水日数 1mm	日照時間(平年比) 階級	
	()	()	(mm)	(%)		(h)	(%)
札幌	21.2	(-1.1)	228.5	(185)	+*	16	123.4 (72) -
稚内	18.3	(-1.3)	94.0	(81)		12	162.0 (109)
北見枝幸	18.0	(-1.1)	174.0	(133)	+	15	138.3 (103)
旭川	19.9	(-1.2)	299.5	(224)	+*	12	121.3 (82) -
留萌	19.8	(-1.1)	169.5	(140)	+	13	146.1 (84) -
羽幌	19.8	(-1.1)	154.5	(117)		16	148.7 (87) -
岩見沢	20.2	(-1.1)	284.5	(190)	+*	16	108.7 (67) -
倶知安	19.5	(-1.2)	272.5	(192)	+*	16	106.9 (70) -
小樽	20.8	(-0.9)	262.0	(223)	+*	15	124.1 (72) -
寿都	20.2	(-0.9)	178.0	(142)	+	17	124.7 (77) -
網走	18.1	(-1.5)	161.0	(159)	+	16	146.9 (85) -
紋別	18.1	(-1.3)	175.0	(156)	+	15	129.4 (84) -
雄武	17.8	(-1.0)	170.5	(139)	+	15	134.7 (93)
釧路	17.4	(-0.6)	140.0	(107)		14	108.6 (85)
根室	16.3	(-1.0)	143.5	(119)	+	15	109.8 (86) -
帯広	19.3	(-0.9)	196.0	(141)	+	15	110.2 (85) -
広尾	18.2	(-0.2)	290.0	(124)		14	90.3 (76) -
室蘭	20.1	(-0.4)	295.0	(153)	+	17	121.8 (85) -
苫小牧	20.1	(-0.2)	285.5	(139)	+	18	105.4 (89)
浦河	19.4	(-0.5)	203.0	(127)	+	13	123.9 (90) -
函館	21.3	(-0.7)	243.5	(158)	+	15	103.9 (69) -
江差	21.6	(-1.0)	144.5	(89)		13	134.7 (81) -
青森	22.8	(-0.5)	180.5	(147)	+	9	157.6 (87) -
深浦	22.7	(-0.5)	203.5	(123)	+	12	154.4 (86) -
むつ	21.0	(-0.7)	315.0	(221)	+*	14	109.9 (76) -
八戸	21.9	(-0.6)	240.5	(187)	+*	11	146.6 (88) -
秋田	25.0	(+0.1)	220.5	(125)	+	11	181.5 (94)
盛岡	23.3	(-0.1)	211.0	(115)		13	145.8 (98)
大船渡	23.6	(+0.6)	253.0	(129)	+	13	150.3 (101)
宮古	21.3	(-0.9)	247.0	(144)	+	15	137.5 (86)
仙台	24.9	(+0.7)	272.5	(163)	+	14	161.8 (112) +
石巻	23.9	(+0.4)	226.5	(196)	+*	14	185.4 (111)
山形	25.0	(+0.1)	281.0	(186)	+	15	169.2 (95)
新庄	24.0	(-0.1)	652.5	(391)	+*	12	157.3 (91)
酒田	25.4	(+0.1)	553.0	(310)	+*	13	180.5 (87) -
福島	26.3	(+0.9)	105.5	(69)		11	159.2 (104)
若松	25.8	(+0.8)	117.5	(87)		16	189.2 (95)
白河	24.4	(+0.9)	167.5	(75)		16	163.6 (113) +
小名浜	25.4	(+1.2)	232.0	(171)	+	14	195.8 (105)
水戸	26.7	(+1.5)	83.0	(63)		12	199.2 (113) +
館野(つくば)	27.0	(+1.5)	71.5	(55)	-	6	211.2 (118) +
宇都宮	26.9	(+1.3)	273.5	(130)	+	14	182.6 (131) +
日光	19.9	(+1.2)	386.0	(98)	+*	15	169.1 (132) +
前橋	27.9	(+1.5)	198.0	(98)		13	220.2 (133) +

地点名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級		降水日数 1mm	日照時間(平年比) 階級			
	()	()		(mm)	(%)		(h)	(%)		
熊谷	28.3	(+1.5)	+	131.5	(68)	9	212.7	(128)	+	
秩父	26.5	(+1.2)	+	205.0	(91)	13	206.0	(139)	+	
東京	28.1	(+1.7)	+*	86.5	(51)	-	8	217.4	(129)	+
大島	27.0	(+1.3)	+*	65.0	(28)	-	8	184.6	(97)	
三宅島	27.6	(+1.4)	+*	81.0	(35)	-	7	235.9	(105)	
八丈島	26.9	(+0.6)	+*	211.0	(118)	+	7	184.7	(109)	+
父島	28.5	(+0.8)	+*	43.5	(39)	-	8	205.5	(97)	
千葉	28.1	(+1.4)	+	58.5	(44)	-	9	231.1	(122)	+
銚子	26.4	(+1.2)	+	97.0	(89)		6	247.6	(112)	+
館山	27.8	(+1.4)	+*	38.5	(31)	-	6	254.8	(118)	+
勝浦	26.8	(+1.2)	+*	66.5	(51)		6	238.9	(110)	+
横浜	28.1	(+1.4)	+	78.0	(47)	-	6	241.8	(117)	+
長野	26.1	(+0.9)	+	82.0	(84)		11	214.2	(105)	
松本	26.1	(+1.4)	+*	49.0	(53)	-	9	231.5	(113)	+
諏訪	25.1	(+1.3)	+	77.5	(60)	-	7	230.3	(115)	+
軽井沢	21.4	(+0.9)	+	127.5	(80)		15	197.7	(120)	+
飯田	26.3	(+1.2)	+*	121.0	(87)		9	229.2	(115)	+
甲府	28.2	(+1.6)	+*	148.5	(99)		8	238.5	(121)	+
河口湖	23.5	(+1.4)	+*	157.5	(63)		10	214.1	(131)	+*
静岡	28.6	(+1.6)	+*	145.0	(58)	-	9	217.0	(108)	+
浜松	28.6	(+1.1)	+	144.5	(96)		11	249.2	(126)	+*
御前崎	27.9	(+1.4)	+*	52.5	(28)	-*	6	270.2	(115)	+
三島	28.5	(+1.7)	+*	103.0	(49)	-	8	206.6	(107)	+
石廊崎	27.3	(+1.4)	+*	81.5	(48)	-	5	251.7	(109)	+
網代	27.6	(+1.5)	+*	131.0	(57)		6	228.1	(117)	+
名古屋	29.7	(+1.9)	+*	128.0	(101)	+	8	239.7	(120)	+
伊良湖	28.6	(+1.6)	+*	91.0	(59)		6	276.4	(118)	+
岐阜	29.8	(+1.8)	+*	103.5	(70)		8	245.6	(121)	+
高山	25.2	(+1.1)	+	149.0	(90)		13	202.1	(112)	+
津	29.2	(+1.7)	+*	148.0	(108)		7	279.2	(130)	+*
上野	27.8	(+1.6)	+*	132.5	(104)		7	242.1	(128)	+*
尾鷲	27.7	(+1.3)	+*	523.0	(112)		10	233.0	(133)	+*
四日市	28.0	(+1.6)	+*	131.0	(89)		9	251.4	(133)	+*
新潟	26.6	(+0.2)		278.0	(198)	+*	12	186.1	(88)	-
相川	26.1	(+0.1)		183.0	(146)	+	8	203.6	(94)	-
高田	26.7	(+0.4)		266.5	(177)	+*	13	182.4	(94)	
富山	27.8	(+1.2)	+	316.0	(188)	+*	11	204.9	(102)	
伏木	27.4	(+0.9)	+	296.0	(190)	+	13	211.0	(103)	
金沢	28.2	(+1.2)	+	253.0	(182)	+*	10	217.8	(98)	
輪島	26.2	(+0.5)		448.0	(288)	+*	10	189.9	(92)	-

地点名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 1mm	日照時間(平年比)		階級	
	()	()		(mm)	(%)			(h)	(%)		
福井	28.6	(+1.4)	+	95.0	(74)		10	232.1	(112)	+	
	敦賀	28.6	(+1.2)	+	163.0	(130)	+	9	228.0	(113)	
彦根	28.5	(+1.4)	+*	78.5	(72)		6	244.0	(117)	+	
京都	29.5	(+1.3)	+	112.5	(85)		5	199.9	(109)		
	舞鶴	27.8	(+0.9)	+	203.5	(152)	+	9	214.5	(109)	
大阪	29.7	(+0.9)	+	41.5	(46)	-	5	260.7	(120)	+*	
神戸	29.1	(+0.8)	+	135.5	(149)	+	5	273.0	(120)	+	
	豊岡	28.1	(+1.3)	+	43.0	(34)	-	8	220.0	(115)	+
	姫路	28.7	(+1.2)	+*	87.5	(91)		5	254.0	(120)	+
	洲本	28.1	(+1.6)	+*	164.0	(153)	+	3	277.0	(120)	+
奈良	28.7	(+1.8)	+*	36.0	(32)	-	5	246.7	(120)	+	
和歌山	29.1	(+1.0)	+	96.5	(112)	+	4	293.5	(123)	+*	
	潮岬	27.3	(+0.3)	+	319.0	(137)	+	10	271.0	(116)	+*
岡山	29.3	(+1.0)	+	37.0	(42)	-	5	259.6	(125)	+	
	津山	27.2	(+1.2)	+	137.0	(129)	+	8	223.3	(125)	+
広島	29.8	(+1.6)	+*	47.0	(42)	-	6	273.2	(129)	+*	
	呉	28.9	(+1.3)	+*	19.0	(20)	-*	3	270.2	(124)	+
	福山	29.2	(+1.6)	+*	86.0	(104)		4	286.0	(126)	+
松江	28.6	(+1.8)	+*	58.5	(51)	-	4	245.2	(121)	+	
	西郷	27.1	(+1.1)	+	126.0	(104)		5	226.2	(107)	
	浜田	28.0	(+1.5)	+*	62.0	(51)		2	295.7	(137)	+*
鳥取	28.6	(+1.6)	+	32.0	(27)	-	7	241.7	(117)	+	
	米子	28.8	(+1.9)	+*	47.5	(38)	-	4	264.2	(126)	+
	境	28.4	(+1.4)	+	100.5	(83)		6	254.3	(120)	+
徳島	28.9	(+1.1)	+	166.5	(96)		7	274.6	(119)	+	
高松	29.7	(+1.6)	+*	77.0	(90)		4	281.8	(125)	+	
	多度津	29.4	(+1.4)	+	76.5	(93)		3	293.2	(125)	+*
松山	29.4	(+1.6)	+*	15.5	(17)	-*	3	282.6	(127)	+*	
	宇和島	28.1	(+0.6)	+	119.0	(68)		10	240.2	(107)	+
高知	28.6	(+1.1)	+*	250.5	(89)		11	228.9	(111)	+	
	宿毛	27.8	(+0.8)	+	303.0	(125)	+	15	222.5	(100)	
	清水	27.9	(+0.4)	+	267.0	(108)		15	256.0	(108)	+
	室戸岬	26.4	(+0.3)	+	157.0	(76)		11	232.2	(101)	
山口	29.1	(+2.1)	+*	23.5	(14)	-*	5	263.3	(131)	+*	
	下関	29.1	(+1.5)	+*	10.5	(7)	-*	2	292.5	(140)	+*
	萩	28.7	(+2.0)	+*	2.0	(1)	-*	1	283.6	(139)	+*
福岡	30.0	(+1.9)	+*	52.0	(30)	-*	9	282.9	(140)	+*	
	飯塚	28.8	(+1.7)	+*	50.0	(30)	-*	3	277.0	(141)	+*

地点名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 1mm	日照時間(平年比)		階級
	()	()		(mm)	(%)			(h)	(%)	
大分	29.1	(+1.8)	+*	38.0	(22)	-*	8	257.1	(124)	+*
日田	29.3	(+2.2)	+*	38.0	(23)	-*	5	268.4	(140)	+*
長崎	29.5	(+1.6)	+*	45.0	(23)	-	5	257.7	(122)	+*
厳原	28.3	(+1.9)	+*	77.5	(26)	-*	5	240.8	(144)	+*
平戸	27.5	(+1.2)	+	112.0	(52)	-	5	280.4	(140)	+*
佐世保	29.8	(+2.1)	+*	111.0	(54)	-	9	276.7	(130)	+*
雲仙岳	24.5	(+1.4)	+*	86.0	(33)	-	6	182.9	(132)	+*
福江	28.4	(+1.4)	+*	83.5	(36)	-*	9	263.1	(132)	+*
佐賀	30.1	(+2.3)	+*	88.5	(45)	-	9	276.8	(134)	+*
熊本	30.1	(+1.9)	+*	36.0	(21)	-*	4	260.5	(123)	+*
人吉	27.6	(+1.3)	+*	125.5	(60)	-	11	200.7	(106)	
牛深	29.5	(+1.4)	+*	54.5	(28)	-*	7	285.4	(123)	+*
宮崎	28.0	(+0.8)	+	342.5	(118)	+	14	215.2	(103)	
延岡	27.4	(+0.7)	+	309.5	(115)		13	198.9	(98)	
都城	27.5	(+0.8)	+*	169.0	(50)	-	16	204.6	(111)	+
油津	27.9	(+0.3)	+	137.5	(58)	-	17	203.7	(101)	
鹿児島	29.6	(+1.1)	+*	46.0	(21)	-*	6	235.2	(114)	+
阿久根	28.5	(+1.3)	+*	30.0	(14)	-*	6	266.3	(117)	+
枕崎	28.4	(+0.8)	+*	91.5	(51)	-	9	237.4	(104)	
屋久島	27.6	(+0.4)	+	214.5	(80)		16	198.7	(99)	
種子島	28.2	(+0.3)	+	73.0	(37)	-	13	228.0	(104)	
名瀬	28.3	(-0.1)		625.5	(233)	+*	19	164.1	(93)	
沖永良部	28.3	(-0.1)		128.0	(71)		15	267.2	(107)	+
那覇	28.5	(-0.2)	-	310.0	(129)	+	17	203.4	(95)	
名護	28.5	(-0.1)		289.0	(116)	+	19	218.1	(103)	
久米島	28.6	(0.0)		250.5	(138)	+	13	226.1	(96)	
宮古島	28.2	(-0.3)	-	601.0	(229)	+*	21	191.3	(87)	-
石垣島	29.2	(0.0)		428.0	(164)	+	16	224.8	(96)	
西表島	28.3	(0.0)		605.5	(221)	+*	18	197.3	(86)	-
与那国島	28.4	(-0.1)		345.0	(162)	+	17	194.4	(85)	-
南大東島	28.7	(+0.4)	+	70.0	(41)	-	12	273.5	(112)	+

(注) 1. 平年値は 1981～2010 年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+ : 高い(多い) : 平年並 - : 低い(少ない)

各階級の区分値は、1981～2010 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めた。

また、値が 1981～2010 年の観測値の上位または下位 10% に相当する場合には階級の「+ -」に * を付加した。この場合には

かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

と表現できる。

3. 値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。) 付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが、]付きの値(資料不足値)については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「x」とした。

6 順位更新表 2018年8月

順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温	平年差	これまでの最高 (西暦年)	開始年	平年値
1	御前崎	27.9 =	+1.4	27.9 (2013)	1932	26.5
	石廊崎	27.3 =	+1.4	27.3 (2013)	1939	25.9
	洲本	28.1 =	+1.6	28.1 (1995)	1919	26.5
	飯塚	28.8 =	+1.7	28.8 (1994)	1936	27.1
	佐世保	29.8	+2.1	29.3 (2010)	1947	27.7
	佐賀	30.1	+2.3	29.6 (2010)	1890	27.8
	日田	29.3	+2.2	28.7 (2010)	1942	27.1
	長崎	29.5	+1.6	29.3 (2013)	1878	27.9
	雲仙岳	24.5	+1.4	24.2 (2016)	1924	23.1
	熊本	30.1	+1.9	29.6 (2010)	1890	28.2
	阿久根	28.5 =	+1.3	28.5 (2013)	1939	27.2
	牛深	29.5 =	+1.4	29.5 (2013)	1949	28.1
2	岐阜	29.8	+1.8	30.3 (1995)	1883	28.0
	名古屋	29.7	+1.9	30.1 (1995)	1890	27.8
	津	29.2 =	+1.7	29.7 (1995)	1889	27.5
	浜松	28.6	+1.1	28.8 (2013)	1883	27.5
	静岡	28.6	+1.6	28.7 (1995)	1940	27.0
	三島	28.5 =	+1.7	28.9 (1995)	1930	26.8
	三宅島	27.6 =	+1.4	27.7 (1995)	1942	26.2
	萩	28.7	+2.0	29.5 (2010)	1948	26.7
	広島	29.8 =	+1.6	30.3 (2010)	1879	28.2
	奈良	28.7	+1.8	28.8 (2010)	1953	26.9
	山口	29.1	+2.1	29.2 (2010)	1966	27.0
	福岡	30.0 =	+1.9	30.3 (2010)	1890	28.1
	人吉	27.6 =	+1.3	27.7 (2016)	1943	26.3
	福江	28.4 =	+1.4	28.8 (2013)	1962	27.0
松山	29.4	+1.6	29.7 (2010)	1890	27.8	
3	松本	26.1	+1.4	26.9 (1994)	1898	24.7
	飯田	26.3	+1.2	26.7 (2010)	1898	25.1
	上野	27.8	+1.6	28.2 (2010)	1937	26.2
	伊良湖	28.6	+1.6	28.8 (2013)	1947	27.0
	尾鷲	27.7 =	+1.3	28.6 (1995)	1939	26.4
	館山	27.8 =	+1.4	27.9 (2013)	1968	26.4
	大島	27.0	+1.3	27.3 (2013)	1939	25.7
	四日市	28.0	+1.6	28.9 (1995)	1966	26.4
	下関	29.1	+1.5	29.4 (2010)	1883	27.6
	呉	28.9 =	+1.3	29.6 (2010)	1894	27.6
	福山	29.2 =	+1.6	30.1 (2010)	1942	27.6
	姫路	28.7 =	+1.2	29.5 (2010)	1948	27.5
厳原	28.3 =	+1.9	28.8 (2013)	1887	26.4	
大分	29.1	+1.8	29.3 (2013)	1887	27.3	

月平均気温低い方からの順位更新

3位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	新庄 酒田	652.5 553.0	391 310	472.5 (1998) 395.0 (2005)	1958 1937	166.9 178.5
2	輪島	448.0	288	512.0 (1968)	1929	155.8

月降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	萩 山口	2.0 23.5	1 14	11.5 (1994) 30.5 (1973)	1948 1966	139.2 171.8
2	日田	38.0	23	15.3 (1967)	1942	168.2
3	阿久根	30.0	14	21.5 (1973)	1939	208.7

月間日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	日田	268.4	140	267.3 (1994)	1942	192.3
2	浜田 下関 平戸 福江	295.7 292.5 280.4 263.1	137 140 140 132	302.5 (1922) 302.3 (1939) 295.2 (2016) 276.2 (2016)	1898 1899 1940 1962	215.5 209.5 200.0 199.2
3	萩 飯塚	283.6 277.0	139 141	294.9 (1990) 313.9 (1939)	1949 1936	204.0 196.3

月間日照時間少ない方からの順位更新

3位以内はなし

(注) 値の横に] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている(資料不足値)。順位は更新順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては気候表に記載した統計日数を参照されたい。
平年値とは 1981~2010 年の 30 年間の値を平均したものである。

本資料に関連した各地点の所在地等の情報は、気象庁ホームページに掲載しています。

ホーム > 各種データ・資料 > 過去の気象データ検索 > 利用される方へ > 地上気象観測地点一覧

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/chiten/sindex2.html>

(注意)

当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。

また、最新のデータを追加した上で、毎月 15 日頃に気象庁ホームページの「日本の天候 (<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/>)」で詳しく解説しています。